

第 5 章

進行管理

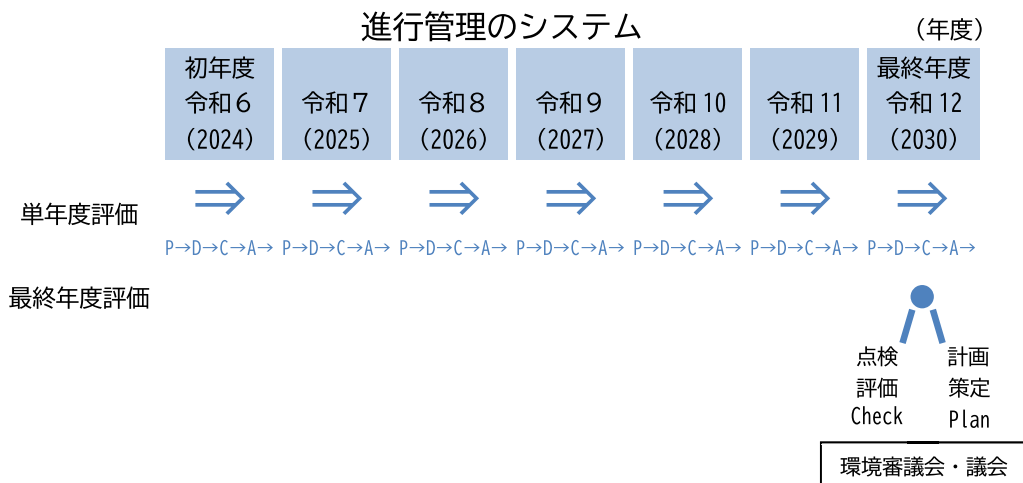
- 1 進行管理
- 2 推進体制

1 進行管理

計画の進行管理は、P D C Aサイクルを基本的な考え方とし、単年度評価、最終年度評価の2段階に区分した評価システムで行います。

各段階に応じて、取組や指標の進捗状況の点検・評価を行うとともに、その結果を計画実施体制等に反映し、着実な推進を図ります。

※P D C Aサイクルとは、Plan（計画策定）、Do（推進）、Check（点検・評価）、Action（改善策）の流れを繰り返すことで、計画の実効性を高める考え方です。



(1) 単年度評価

単年度評価では、年度ごとに環境基本計画の取組となる各事業の進捗状況を取りまとめ、その結果について次年度の事業展開へ反映します。

(2) 最終年度評価

最終年度評価では、台東区環境審議会や台東区議会により計画の総合的な進捗状況を点検・評価し、その結果と社会情勢等を踏まえて、新たな計画の策定を行います。

2 推進体制

本計画の推進に向けては、各計画事業の担当課を中心に構成する環境まちづくり推進会議において、施策・事業に関する庁内の連絡・調整を図るとともに、台東区環境審議会への年次報告を通じて進捗状況の点検・評価を行います。

また、環境配慮行動の取組では、環境ふれあい館ひまわりの運営や環境(エコ)フェスタなど様々な機会を活用して交流・情報交換を図りながら、区民・事業者・区の連携・協働により本計画を推進していきます。